

平成30年度 学校自己評価書

小美玉市立納場小学校 校長 久保田輝男

1 今年度の取組みの概要

- かがやく納場っ子の育成：かがやく瞳 がんばりぬく姿 やさしい心 くふうするかしこい頭
 (体) (徳) (知)
- 「がんばりぬく姿」の育成
 - ・運動量を確保した体育授業の充実
 - ・健康教育、安全教育の充実
 - ・体力づくり運動の推進
 - ・規則正しい生活習慣づくり
 - 「やさしい心」の育成
 - ・学級経営の充実 (いじめ0)
 - ・読書活動の充実 (50冊読破)
 - ・道徳教育の推進
 - ・体験活動の充実
 - ・自主性を育てる特別活動の推進
 - 「くふうするかしこい頭」の育成
 - ・基礎・基本の定着
 - ・学ぶ意欲と学習態度の育成
 - ・学習の習慣づくり
 - 魅力あふれる学校づくり
 - ・開かれた学校づくりの推進
 - ・地域人材を生かした教育活動の充実
 - ・保幼小の連携
 - たゆまず励む教員づくり
 - ・研修の充実
 - ・インクルーシブ教育の推進

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

◎ 組織目標1についての具体的な取組み

組織目標1	児童自らが、体力向上をめざし活動する場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○運動量を確保した体育授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ランニングの実施 ・業間運動の工夫 (持久走, なわとび) ・体力差, 技能差に応じて選択できる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストA+B 63.4% ・「体育の授業で十分な活動時間や運動量を確保したか」90% (自己評価) ・「体育や休み時間に十分運動しているか。」91.6% (児童アンケート) 	A
○安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な避難訓練の実施 ・登校班集会の実施 (学期2回) ・朝の立哨と下校時の巡視。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し訓練の改善 ・Jアラート時の避難場所確認 ・児童が演じる不審者対応 ・「安全に登下校できているか。」97.7% (保護者アンケート) 	B
○健康教育の充実と生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の活用 ・養護教諭による保健指導 ・早寝早起き朝ご飯の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室 (6年) ・がん教育 (5年) ・食べ物教室 (全学年) ・朝食摂取率 97.9% (児童) 	A

◎ 組織目標1についての具体的な取組み

組織目標2	児童同士が進んで助け合い励まし合える場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の公開 ・人権フォーラムの開催 ・異学年交流, ペア学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートや資料の効果的活用 90.0% (自己評価) ・「すすんであいさつできる」89.2% (保護者アンケート) 93.1% (児童アンケート) 	B
○学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを生まない学級経営 ・生活アンケート (毎月) ・Q-Uテストの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートにより小さなトラブルにすぐに対応した。 ・継続して指導が必要ないじめ案件は「0」である。 	A
○体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験 (田植え, 稲刈り, 脱穀) ・シニア体験と交流 ・保幼小交流 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者・地域と連携した教育活動の実施」99.6% (保護者アンケート) ・幼小交流 11回 ・50冊読破 93.8% (4~6年合計) 	A

◎ 組織目標 1 についての具体的な取組み			
組織目標 3	児童が主体的に学び合える場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉でまとめる振り返り時間の設定 「学び合い」による交流の充実 学習形態の工夫 I C T の効果的活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業中に友達と話し合う時間はありますか。」 90.9% (児童アンケート) 一層の基礎・基本の定着が必要である。 	B
○分かりやすい授業への改善	<ul style="list-style-type: none"> 模擬授業→研究授業→研究協議会の実施 研修センター校内研修支援事業の活用 夏季研修「学び合いを取り入れた授業づくり」 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校は、学力の定着を図るため指導の工夫をするとともに分かりやすく学習できるように努めていますか」 93.5% (保護者アンケート) 	A
○学習の習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習強化月間の実施 親子宿題プリントの実施 家庭学習カードを活用しての家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 「お子さんは、宿題や家庭学習を進んで行っている。」 81.0% 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

(成果)

- ・朝読書により落ち着いた雰囲気朝の会、1時間目がスタートできている。
- ・多くの児童が、「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業で目標としている50冊を読破することができた。4年生37名(100%) 5年生42名(82%) 6年生59名(100%)
- ・国語を中心に研修をすすめる、授業の中で自分の考えを交流する「学び合い」の場を多く設定することができた。
- ・授業末の振り返りの時間に自分の言葉でまとめることにより、少しずつ学習内容の定着が図られてきた。
- ・体力テストA+Bの人数の割合は県の平均を上回り、昨年度とほぼ同様の63.4%であった。
- ・登校後すぐにランニングや縄跳びなどに取り組む児童が増えてきた。
- ・I C T サポーターと連携を図り、タブレットやコンピューターを活用した授業が展開され、児童が意欲的に学習に取り組めた。

(課題)

- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指し、「読むこと」「書くこと」を効果的に位置づけ、児童が楽しく学び合える授業づくりに重点を置いた研修を深めていく必要がある。
- ・投力、柔軟性を高める運動を授業の中に位置づけ、向上を図る必要がある。

3 保護者や地域の皆様へ

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

- ◎ 総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、児童は田植え、稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さなどを学ぶことができました。「納場っ子 夢未来フェスタ」において赤飯や餅に加工して美味しくいただき、収穫の喜びを味わうことができました。
- ◎ 登下校のボランティアの皆様には、1年間を通して児童の交通安全のためのご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで大きな事故やけがもなく安全に登下校することができました。
- ◎ 金管バンド部については、「納場コミュニティふれあい祭り」「茨城県芸術祭」「安心・安全まちづくり市民大会」で演奏の場を提供していただき、部員の励みになりました。また、保護者や地域の方のご支援により、日頃の練習にも意欲的に取り組むことができました。
- ◎ 納場コミュニティ、子ども会育成会、小美玉市民の会、名友会等のご支援により、児童は地域の様々な行事に参加し、児童の地域への所属感を深めることができました。
- ◎ 「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで授業を初めとして運動会などの学校行事や金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。

平成31年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。